

セツ森希望の家様へ

もう気づけば12月ですねみなさん。

お元気ですか？私は元気です。

この前、セツ森希望の家の事を書いた作文がコンクールで入賞したので、ぜひ読んでいただきたく、お手紙を出しました。この賞をとれたのは、みなさんのおかげです。とても感謝しています。なのでまた、お会いできる時を楽しみにしています。

良いお年をおむかえ下さい！

岡本悠楽

コムギコ会合宿にさんかして

仙台市立向陽台小学校 四年 岡本 悠楽

みなさんのまわりには、障害者の人はいますか？ 私のおかあさんは料理やパンを教える先生です。その中に障害者とパンを作る「コムギコ会」という活動があります。コムギコ会とはどんな人もうけ入れる、小さなパン教室で、ダウン症の人や自閉症の人、軽い知的障害、中には障害のない人もいます。

コムギコ会の活動は年に数回、コムギコ会合宿は一年に一度、七ツ森希望の家であります。そこでは障害者だけでなく、その家ぞくの人までもが安心して泊まれる場所です。例えば、自閉症の人がいる家ぞくは「大きな声をだしてほかの人にめいわくをかけてないかな」など心配になります。七ツ森希望の家では、このようなことを心配する必要はありません。なぜなら障害のことをわかりあえる仲間やよくいんさんがサポートしてくれるからです。コムギコ会合宿のかんたんな内容を書きます。全員あつまったらじこしょうかいです。ここでみんな

のとくいな事や苦手な事がわかってきます。次に運動会をしました。パンくいきよう走やスリッパとぼしなどでもりあがりました。次の日の朝は元気にラジオ体操からはじめます。朝のねむさをとばします。

2日目のイベントはとくぎ発表会でした。ハーモニカを吹いて曲名をあてるゲームをしたり、書いた絵を見せてくれる人もいました。みんなの個性があふれていて、どんな障害をもついてもキラキラがやくことが出来るところを見せてくれました。

この日一番さいごの大イベント！ ネイチャークラフトです。木の葉のはん画トートバッグや木のえだや毛糸を使ったふくろうのおきものなど世界に一つだけの作品が出来ました。テーブルごとにすわった人たちとおしゃべりしながら作ったその作品にはみんなの2日間の思い出がいつぱいつまっています。

少しさみしいけどおわかれです。「七ツ森希望の家」

とかかれたかん板の前でえがおで写真を撮りました。自分で作ったネイチャークラフトの作品を持っている人もいました。

「カシャッ」

と音がなつた時、少しだけ自分が成長したと気づきました。

2日間障害者といっしょに生活して、声のかけ方、障害へのよりそい方を工夫してみたり、障害者の親の思いなどを聞いて、みんなへの理解をふかめました。

次は気軽におたがいのことを話せるようになりたいです。そして、私からもつとみんなにえがおになつてもらえるようなお手伝いがしたいです。